

本宮駅周辺東西アクセス整備計画書



平成26年4月

本宮市

はじめに

本宮市の中心市街地は、本宮駅東側に商店街や住宅などが混在した形で形成されてきましたが、時代の変遷により駅西側や高木地区への市街地拡大が進んでまいりました。また、商店街を中心とした祭りや花火大会、イルミネーションなど多くのイベントも開催され、市民と企業、行政が一体となったにぎわいづくりが実施されております。



しかしながら、国道4号やJR東北本線、阿武隈川により市街地が東西に分断され、本宮駅周辺へのアクセス環境も整っていないことから、駅周辺における求心力の低下が懸念されており、かねてより地域住民や駅周辺利用者をはじめとする多くの方々から、東西結節動線の改善に対する要望が寄せられておりました。このため、自由通路の整備計画検討など、市民を交えた協議も幾度となく実施してまいりましたが、社会経済状況の変化や様々な諸事情により、実現までに至ることはできませんでした。

また、本市の人口は震災の影響もあり減少傾向がみられ、今後も人口減少とともに少子高齢化が進行すると予測されております。将来にわたり活気あふれるまちであり続けるため、交通の要衝であり「福島へのそのまち」としての地の利を生かし、定住促進につながる住みよいまちづくりを進めていくことは急務であり、駅周辺の利便性・快適性の向上やにぎわい創出は、最重要課題の一つとなっております。

今回策定いたしました「本宮駅周辺東西アクセス整備計画書」は、平成24年9月に市に提出された「本宮駅周辺にぎわいづくり提言書」や各種市民アンケートなどからの住民ニーズを踏まえ、本宮駅周辺の東西アクセス道路や都市基盤整備についての基本方針を掲げたものとなっております。

策定にあたりましては、学識経験者や各種団体関係者、地域住民、公募委員により組織される、「本宮駅周辺東西アクセス整備計画検討委員会」を設置し、計画に関する貴重なご意見、ご協議を賜りました。また、国や県、JR仙台支社にもオブザーバーとしてご参加いただき、専門的かつ有意義なアドバイスを頂戴いたしました。ご協力いただきました皆様方に、改めて心より御礼を申し上げます。

今後は、定住促進と本市の発展のため、本計画の実現に向けて誠心誠意取り組んでまいります。そして、市民の皆様とともに、市街地の一体化実現に向けた新たなステップを踏み出し、もとみやの元気を再生していきたいと考えておりますので、市民の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

平成26年 4 月

本宮市長 **高松 義行**

目 次

1. 本宮駅周辺の現状	3
2. 本宮駅周辺東西アクセス整備事業の必要性	3
【Ⅰ. 東西アクセスに向けた長年の取組み】	3
【Ⅱ. 調査等からみる住民の意向】	4
(1) 「本宮駅周辺にぎわいづくり提言書」	4
(2) 「本宮市市街地地区整備事業に関するアンケート」調査結果	5
(3) 「本宮市国土利用計画及び本宮市都市計画マスタープラン策定に関する市民アンケート」 調査結果	7
3. 本宮駅周辺東西アクセス整備事業の基本方針	9
4. 本宮駅周辺東西アクセス整備事業箇所	10
5. 本宮駅周辺東西アクセス整備事業の整備方針	12
6. 本宮駅周辺東西アクセス整備計画検討委員会の概要	16
(1) 本宮駅周辺東西アクセス整備計画検討委員会開催経過	16
(2) 本宮駅周辺東西アクセス整備計画検討委員会委員	20
(3) 本宮駅周辺東西アクセス整備計画検討委員会設置要綱	21

1. 本宮駅周辺の現状

本宮駅周辺では、中心市街地の新しい顔となる「本宮駅前東口広場」や保健・福祉・交流拠点としての「えぽか」、交通アクセス改善のための「大縄堀街道踏切拡幅」など、市街地活性化に向けた事業を展開してきました。

しかしながら、ＪＲ東北本線で駅周辺が東西に分断されている状況の中で、東西を往来するためのアクセス環境は不十分であり、特に、子どもや学生、お年寄りを始めとした歩行者に対する安全・安心な移動空間が確保されていない実状にあります。こうしたことから、駅周辺への求心力の低下や交流人口の減少が懸念されています。

このため、車や歩行者が東西を快適に移動できる動線の確保が不可欠であり、道路や都市基盤などの本宮駅周辺東西アクセス整備を早急に実施していく必要があります。

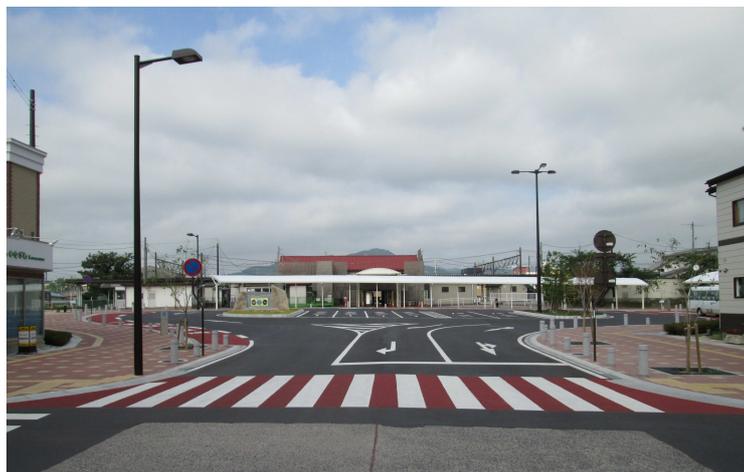
2. 本宮駅周辺東西アクセス整備事業の必要性

【I. 東西アクセスに向けた長年の取組み】

本宮市の市街地は、阿武隈川、ＪＲ東北本線、国道４号、東北自動車道と大きな南北軸によって分断され、都心としての求心性や中心市街地機能の効果的な展開が阻まれてきました。平成を迎えると、民間開発による大規模な住宅造成、郊外型の大型店の出店、公共施設の移転等により駅を中心として市街地が西に拡大し始めました。

そのため、東西を往来する人、車のより良い幹線道路や歩行軸の整備が強く求められるようになり、商店街活性化や東西の交流性及び駅利用者の利便性の向上から、東西連絡通路や駅前広場の整備を計画的に進めるため、現在までに幾度となく住民の代表の意見を反映させながら検討を重ねてきた経過があり、本事業は、本市の長年の悲願であります。

なお、本宮駅前東口広場の整備につきましては、中心市街地の新しい顔として相応しい「本宮の顔」となるよう、交通の利便性の向上や交流空間の形成、また、バリアフリーの推進等の基本的な方針のもと平成２４年７月２１日に完成しております。



【Ⅱ. 調査等から見る住民の意向】

本宮駅周辺に関する住民意向からも東西アクセス整備の必要性が伺えます。

(1) 「本宮駅周辺にぎわいづくり提言書」

平成 24 年 9 月に、本宮駅周辺商店街関係者、関係諸団体、公募委員等から組織される「本宮駅周辺にぎわい創出検討委員会」より、にぎわいづくりに向けた提言書が、市に提出されました。

(主な内容)

課題 東西に分断されている中心市街地

- ◎国道 4 号、JR 東北本線、阿武隈川の大きな南北軸によって市街地が分断されていることから、まちなかへの東西アクセス道路の整備が遅れている。
- ◎本宮駅西側の住民が鉄道や商店街を利用する際には狭隘な踏切をわたらなければならないという不便をきたしているため、本宮駅を中心とした東西動線の確保が必要。

目標 1 東西が一体となった利便性の高いまちづくり

- ◎国道 4 号や JR 東北本線、阿武隈川で分断されている東西の地域に人の流れを創り出すため、歩行者や車の安全・安心と動線の確保、更に本宮駅を中心とした交通基盤を整備しながら、幹線道路である国道 4 号からのスムーズな流れを生み出し、駅周辺ににぎわいを創出する。

目標 2 回遊性と滞留性を持たせた機能的なまちづくり

- ◎完成された本宮駅前東口広場を中心として、人と人が触れ合う機能的な都市基盤の更なる整備を図るとともに、連続する商店街の魅力や各個店の商品をアピールしながら、回遊性と滞留性を持たせることにより、にぎわいのある駅周辺を創出する。

(2)「本宮市市街地地区整備事業に関するアンケート」調査結果

1 調査の概要

(1) 目的

このアンケート調査は、平成 19 年度から都市再生整備計画に基づき、国からの交付金（※）を受けて実施してきた「本宮市街地地区整備事業」について、平成 24 年度に本宮駅前東口広場等のすべての事業が完了したことに伴い、市民の皆様方の事業の実感やご意見を把握し、今後のまちづくりの方策を検討する基礎資料とすることを目的として実施しました。

※国の交付金：社会資本整備総合交付金（旧まちづくり交付金）

(2) 調査方法

- 調査地域：本宮市全域
- 調査対象：本宮市在住の 20 歳以上の市民 2,000 人
(住民基本台帳より地区や年齢に配慮した無作為抽出)
- 調査方法：調査票を郵送配布、郵送回収
- 調査期間：平成 25 年 3 月 1 日～3 月 15 日まで（※最終回収締切 3 月 31 日）

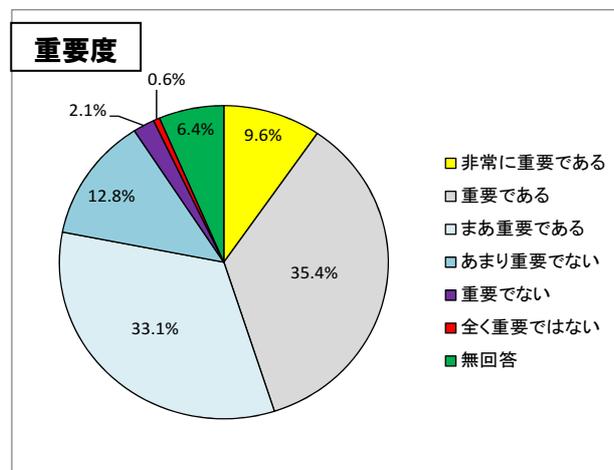
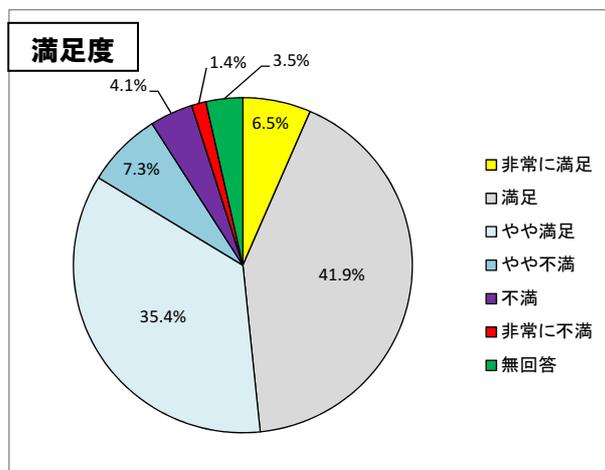
(3) 配布・回収状況

- 回答数 800 名
- 回収率 40.00%

2 集計結果

①市街地の整備、都市景観の形成

市街地の整備、都市景観について、整備されたところについては 8 割以上の方が満足していると示している。また、重要であるとの回答が 8 割近くを占めており、今後も整備や維持に努めていかなければならないことが伺える。

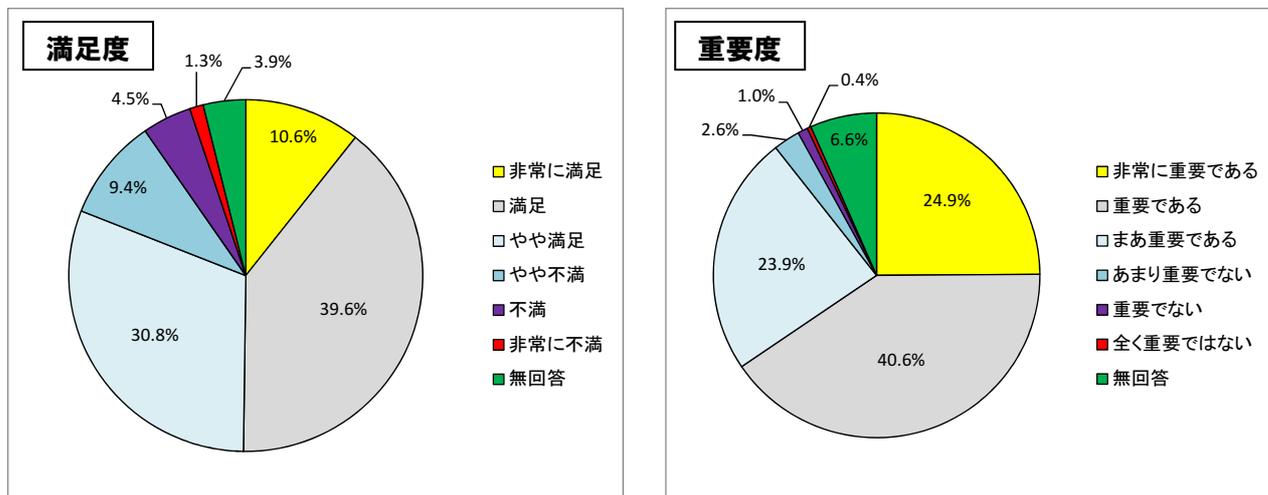


自由回答

東西自由通路の整備や西口広場の整備、駅舎の改修等、駅周辺の整備に対する要望が多い。また、東西の交通の利便性からも東西を結ぶ道路についての整備を求める声も高い。これらの整備は、市の発展や活性化に繋がるとの意見も多く、早急な改善が求められている。

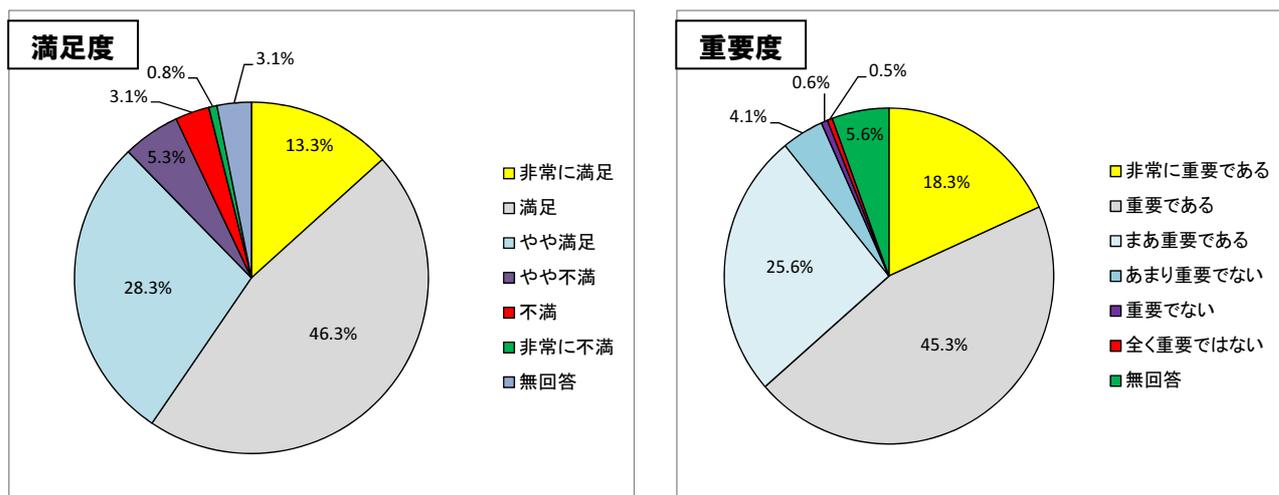
②交通安全対策の充実（歩道設置など）

交通安全対策の充実については、整備された歩道等について8割以上の方が満足しているとしている。また今後も重要であるとの回答が9割近くを占めており、安全・安心に通行できる道路の環境整備が強く望まれている。



③道路・交通網の整備（交通の利便性や安全性の確保）

道路・交通網の整備について、整備された道路については8割以上が満足しているとしている。また、重要であるという回答は9割近くを占めており、今後も利便性や安全性に考慮した道路等の整備、維持に努めていかなければならないことが伺える。



自由回答

下町・小幡線の線路下道路及び歩道の整備、太郎丸・花町線道路及び踏切の整備、万世・中條線の整備等、道幅が狭く歩道も十分でない道路について整備を求める声が多い。また東西をつなぐ道路の整備に対する要望も多い。

(3)「本宮市国土利用計画及び本宮市都市計画マスタープラン策定に関する市民アンケート」調査結果

1 調査の概要

(1) 目的

このアンケート調査は、土地の利用に関する最も基本的な計画である「本宮市国土利用計画」と、まちづくりの将来像を示し、その目標を実現するために、土地利用・道路・公園などの施設の整備方針などを示す計画である「本宮市都市計画マスタープラン」の策定にあたり、「地域の現状」や「これまでのまちづくりに対する満足度」、「将来のまちづくりに対する考え方」などに関する市民の皆様方の意見・意向を把握し、計画に反映させることを目的として実施しました。

(2) 調査方法

- 調査地域：本宮市全域
- 調査対象：本宮市に居住する20歳以上の市民2,000人
- 調査方法：調査票を郵送配布、郵送回収
- 調査期間：平成24年8月14日～8月24日まで

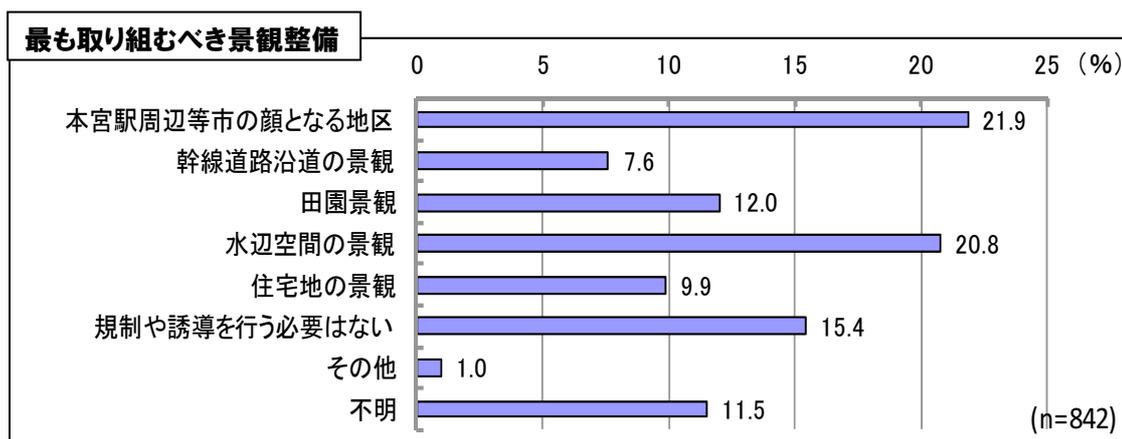
(3) 配布・回収状況

- 回答数 842名
- 回収率 42.1%

2 集計結果

①最も取り組むべき景観整備

景観整備に関しては、「本宮駅周辺等市の顔となる地区」(21.9%)、「水辺空間の景観」(20.8%)の整備が高くなっている。



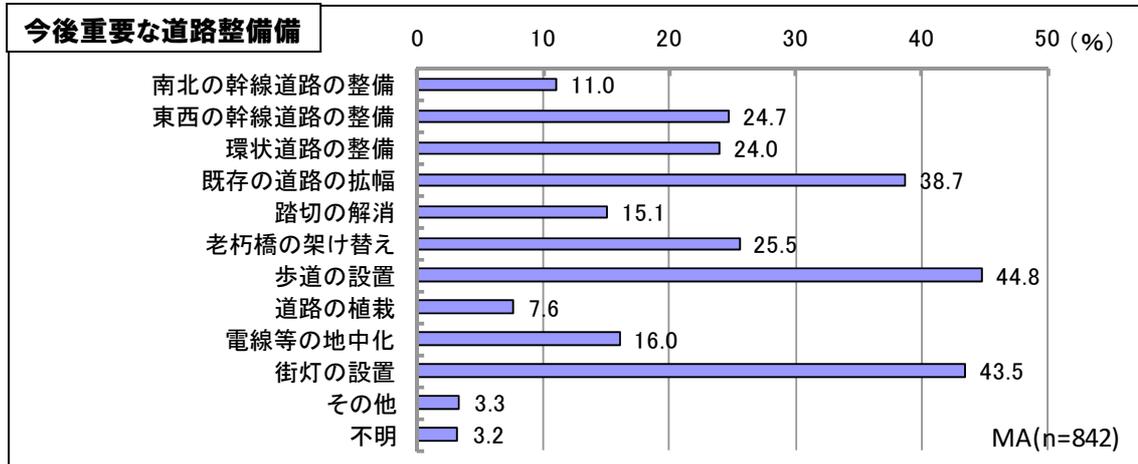
自由記述

本宮駅前広場の改修に対して、良くなったという声より更なる改善要望を求める声のほうが多い。特に、西口から本宮駅改札へ直接入れないこと、それに伴い、駅東西を結ぶ道路、通路等を整備する要望が多い。

近年西口の人口が増えてきている、大玉村方面からの利用者も少なくないにも関わらず、本宮駅の西口の開発が遅れていること（手を付けていないこと）に対する不満や要望が多く挙げられている。

② 今後重要な道路整備

道路の整備に関しては、「東西道路」(24.7%)や「環状道路」(24.0%)、「老朽橋の架け替え」(25.5%)の選択率が相対的に高いですが、それ以上に「歩道の設置」(44.8%)、「街灯の設置」(43.5%)、「既存の道路の拡幅」(38.7%)など、安全・安心に通行できる道路の環境整備が望まれていると考えられる。



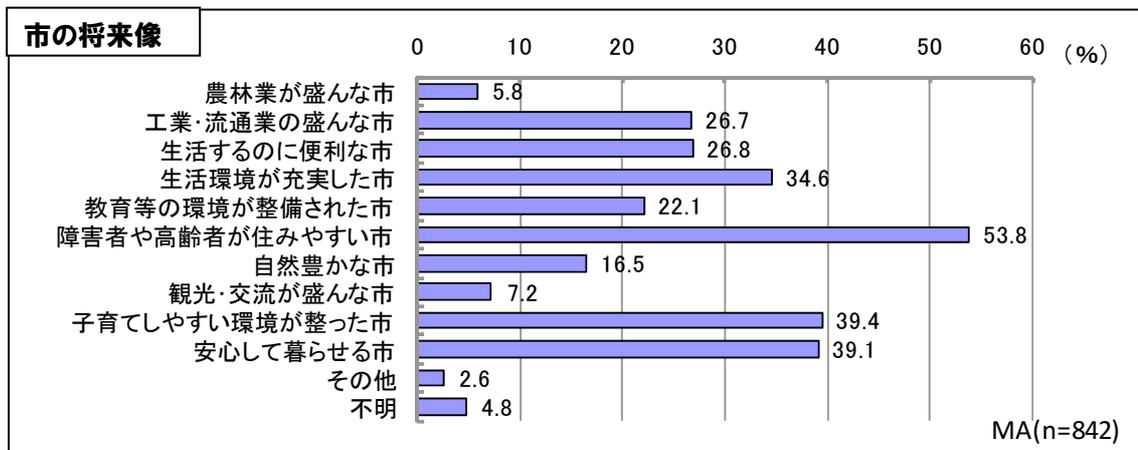
自由記述

現況の道路、生活道路に関する不満や改善要望が多く、要望は多い順から、①歩道の設置、②街灯の設置(改修)、③通学路の安全性確保、④除雪の徹底、⑤橋の改修(耐震補強)、⑥踏切の拡幅、⑦自転車道の整備。

南北の道路網は充実しているが、東西の連絡が弱いので、改善すべきといった意見がある。(本宮駅東西を結ぶ道路の意見と重複する。)

③ 市の将来像

「障害者や高齢者が住みやすい市」が53.8%と半数を超え、次いで、「子育てしやすい環境が整った市」(39.4%)、「安心して暮らせる市」(39.1%)、「生活環境が充実した市」(34.6%)となっている。『安心して暮らせる生活環境が整った市』が将来像として求められていると考えられる。



自由記述

本宮市に住みたい、住み続けたいと思えるような市にして欲しいといった意見が多く出されている。また、駅を含む駅周辺の整備を求める声も多く、安心して快適に過ごせるまちづくりが望まれている。

3. 本宮駅周辺東西アクセス整備事業の基本方針

本宮駅周辺における現状や課題、さらには市民の声からの必要性を踏まえ、本宮駅周辺東西アクセス整備の基本方針を次のように設定しました。

【基本方針】

子どもからお年寄りまで安心して暮らせる、

東西に活力あるまちへ！！

① 本宮駅周辺の安全・安心・快適性の確保

本宮駅周辺の東西アクセス道路や都市基盤整備を実施し、歩行者や車の新たな道路空間の創出、交通分散を図り、安全・安心・快適性を確保します。

② 本宮駅周辺施設の利用しやすさの向上

本宮駅周辺の東西アクセス道路や都市基盤整備を実施し、本宮駅を中心とした、市役所、えぽか、公民館、商工会、商店街等の各施設を結ぶ動線を確保し、利用しやすい環境整備を進めます。

③ 本宮駅周辺の活性化

本宮駅周辺の東西アクセス道路や都市基盤整備を実施し、東西の往来を充実させ、本宮駅の東側と西側の双方の活性化を図ります。

4. 本宮駅周辺東西アクセス整備事業箇所

整備箇所及び整備順位は次のとおりとし、早期完成を目指します。

【概ね5年程度で整備】

①本宮駅東西自由通路整備（駅舎改修及び附帯施設）

本宮駅と線路で東西に分断された市街地を結ぶ通路の整備及びそれに伴う駅舎の改修と駅舎に附帯する施設の整備

②本宮駅西口広場整備

東西自由通路整備により増加する西口利用者のための交通空間の整備

③市道万世・中條線道路改良

大縄堀踏切から県道までの区間の狭隘箇所の改良

【概ね10年程度で整備】

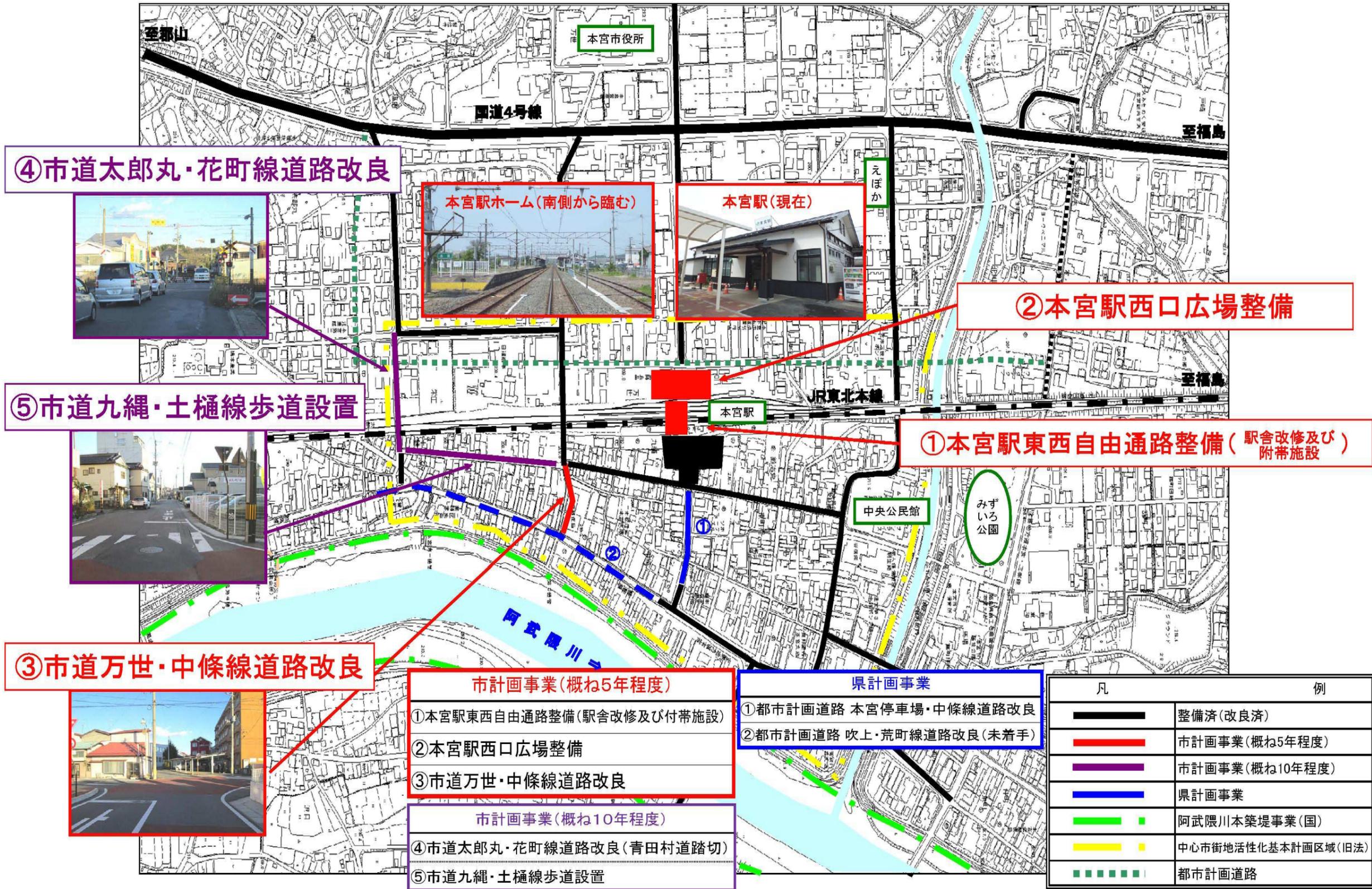
④市道太郎丸・花町線道路改良（青田村道踏切）

歩道設置および踏切の改良

⑤市道九縄・土樋線歩道設置

車と歩行者空間の分離のための歩道設置

本宮駅周辺東西アクセス整備事業箇所



④市道太郎丸・花町線道路改良



②本宮駅西口広場整備

⑤市道九縄・土樋線歩道設置



①本宮駅東西自由通路整備 (駅舎改修及び
附帯施設)

③市道万世・中條線道路改良



- | |
|--------------------------|
| 市計画事業(概ね5年程度) |
| ①本宮駅東西自由通路整備(駅舎改修及び付帯施設) |
| ②本宮駅西口広場整備 |
| ③市道万世・中條線道路改良 |
| 市計画事業(概ね10年程度) |
| ④市道太郎丸・花町線道路改良(青田村道踏切) |
| ⑤市道九縄・土樋線歩道設置 |

- | |
|-------------------------|
| 県計画事業 |
| ①都市計画道路 本宮停車場・中條線道路改良 |
| ②都市計画道路 吹上・荒町線道路改良(未着手) |

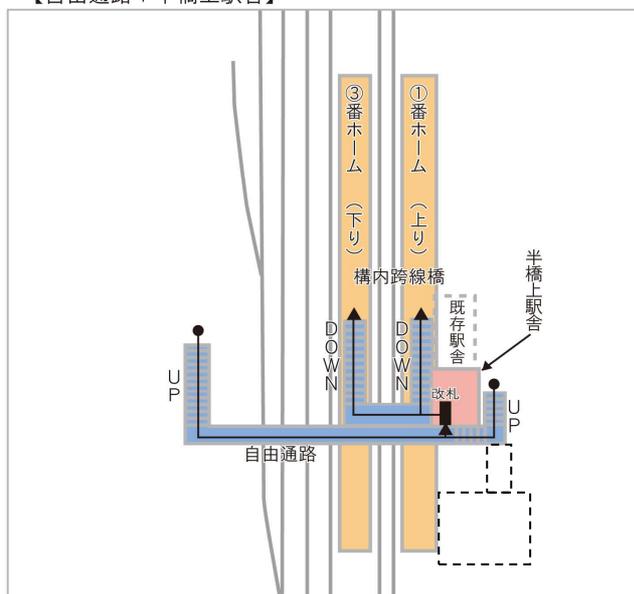
凡	例
—	整備済(改良済)
—	市計画事業(概ね5年程度)
—	市計画事業(概ね10年程度)
—	県計画事業
—	阿武隈川本築堤事業(国)
—	中心市街地活性化基本計画区域(旧法)
—	都市計画道路

5. 本宮駅周辺東西アクセス整備事業の整備方針

①本宮駅東西自由通路整備（駅舎改修及び附帯施設）

- 子どもからお年寄りまで誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化に対応した（エレベーターや点字ブロック等）通路を整備します。
- ゆとりと温かみのある空間やデザインに配慮し、いつでも安全に利用できる通路を整備します。
- 駅舎については、利便性やコスト面等に関する比較から総合的に勘案し、高架式（半橋上駅舎）での整備を進めます。
※【参考】駅舎に関する比較検討表 P 1 3 参照
- 本宮市の玄関口として、シンボルとなるような駅舎についてJRと協議します。
- 駅利用者の待合わせや、電車等の待合スペースを確保します。
- 待合機能に加え、市民の交流や憩いの場としての交流機能を持たせた施設を整備するなど、空間の有効活用を計画します。
- コミュニティ放送局やインフォメーションセンター（観光案内所）など情報発信と地域交流の拠点となるような空間作りに努めます。

【自由通路＋半橋上駅舎】



半橋上駅舎イメージ



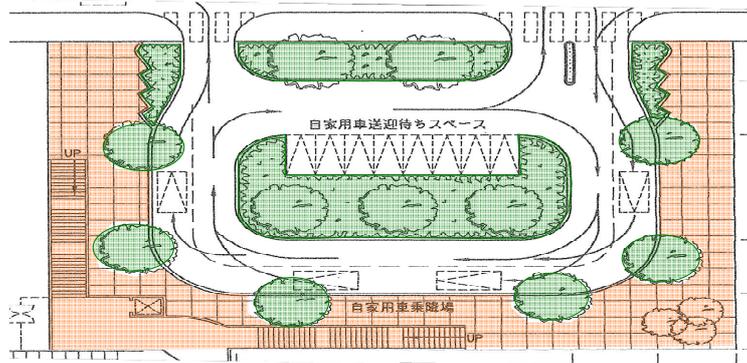
【参考】駅舎に関する比較検討表

	半橋上駅舎	橋上駅舎	単独自由通路
形態	<ul style="list-style-type: none"> 自由通路と駅舎機能が一体化し2階部分に集約された駅 駅舎がホームや線路の上空を避けて自由通路の両端のどちらかに寄せられている 	<ul style="list-style-type: none"> 自由通路と駅舎機能が一体化し2階部分に集約された駅 駅舎がホームや線路の上空に設置されている 	<ul style="list-style-type: none"> 自由通路のみとなり、駅舎とは分離となる 別途、ホーム間の構内跨線橋が必要となる
コスト	<ul style="list-style-type: none"> 自由通路と駅舎を新たに整備する必要がある 線路上空での工事が自由通路のみとなるため、建築費用等が通常の橋上駅より抑えられる <p style="text-align: right;">○</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自由通路と駅舎を新たに整備する必要がある 線路上空に駅舎を設置するため、工事費が高くなる <p style="text-align: right;">△</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自由通路のみの設置となるため、工事費は最も安価となる <p style="text-align: right;">◎</p>
利便性	<ul style="list-style-type: none"> 東西どちらからの利用者も自由通路とホームの上り下りが必要となるが、ほぼ平等にスムーズに利用が可能となる 駅舎が2階部分となるため、1階部分の土地の有効利用が可能となる <p style="text-align: right;">◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東西どちらからの利用者も自由通路とホームの上り下りが必要となるが、平等にスムーズに利用が可能となる <p style="text-align: right;">◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> 西側からの利用者は自由通路とホーム間の構内跨線橋の上り下りが必要となる <p style="text-align: right;">△</p>
バリアフリー化	<ul style="list-style-type: none"> 自由通路と駅舎を同時に整備するので、一体的なバリアフリー化が可能となる <p style="text-align: right;">◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自由通路と駅舎を同時に整備するので、一体的なバリアフリー化が可能となる <p style="text-align: right;">◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎とホーム間の一体的なバリアフリー化が困難となる <p style="text-align: right;">△</p>
総合判定	◎	○	△
イメージ図			

②本宮駅西口広場整備

- 乗降場や送迎待ちスペース等を確保し、また、バス、タクシー等の乗り入れについて計画します。
- 渋滞を緩和するための円滑な交通ルートと、駅舎や自由通路へのスムーズな歩行経路の確保を計画します。
- バリアフリー・ユニバーサルデザイン化を推進し、誰もが気軽に利用しやすい開放的な空間づくりを目指します。
- 周囲との調和を図りながら、植栽やモニュメントなどの配置や魅力的なデザイン創出の検討を行い、良好な景観形成に努めます。
- イベントの開催や災害時の一時避難所となる、市民交流広場の確保に努めます。
- 広場の有効活用と地域活性化のため、市民が自由に利用できるスペースの確保を目指します。
- 本宮駅周辺や駅利用者などの利便性を図るため、利用しやすい駐車場・駐輪場を整備します。

イメージ（本宮駅周辺にぎわいづくり提言書より）



■ 駅前広場の事例（新津駅西口広場）



③市道万世・中條線道路改良

- 道路拡幅により国道4号から県道までの動線を確保し、市街地の新たな東西アクセス道路として構築します。
- 歩道を整備し、歩行者や自転車の安全・安心な移動空間を確保します。



整備イメージ

④市道太郎丸・花町線道路改良（青田村道踏切）

- 踏切改良による車の安全な対面通行を確保し、主要な東西アクセス道路として構築します。
- 歩道を整備し、歩行者や自転車の安全・安心な移動空間を確保します。



整備イメージ

⑤市道九縄・土樋線歩道設置

- ボラード（ポール）の設置等により歩道と車両を分離し、歩行者の安全・安心を確保します。



整備イメージ

6. 本宮駅周辺東西アクセス整備計画検討委員会の概要

(1) 本宮駅周辺東西アクセス整備計画検討委員会開催経過

第1回：平成25年7月5日（金）

議 事	(1) 本宮駅周辺の整備状況について (2) 本宮駅周辺にぎわいづくり提言書の内容について (3) 本宮駅周辺東西アクセス整備事業の必要性について (4) 本宮駅周辺東西アクセス整備事業箇所（案）について
主 な 内 容	本宮駅周辺の現況や課題を整理するとともに、「にぎわいづくり提言書」や「各種アンケート調査」などの市民からの意見を確認し、本宮駅周辺東西アクセス整備事業の必要性についての協議を行った。 それを基に、整備事業箇所についての協議・検討も行った。
主 な 意 見 等	○駅や駅周辺利用者の安全・安心、利便性を考慮すると、東西自由通路や西口広場は早急に整備すべきである。 ○東西の活性化を念頭においたうえで、東西自由通路と併せて、駅周辺のアクセス道路も検討していくべきである。 ○東西自由通路と西口広場を整備した後の状況を想像しながら、計画を検討していく必要がある。 ○駅西側の宅地化が進んでいることから、西側からも駅が利用できるようにすることは必要である。 ○バリアフリーに対応した自由通路整備が必要である。



第2回：平成25年9月30日（月）

議 事	<p>(1) 本宮駅周辺東西アクセス整備事業箇所について</p> <p>①整備順位について</p> <p>②整備方針について</p> <p>(2) 本宮駅東西自由通路（駅舎含む）及び西口広場の機能役割について（I）</p>
主 な 内 容	<p>本宮駅周辺東西アクセス整備事業箇所の整備順位や、「子どもからお年寄りまで安心して暮らせる、東西に活力あるまちへ」をコンセプトとした、整備における基本的な方針についての協議を行った。</p> <p>また、他事例を参考として、自由通路及び駅舎、西口広場における形態や必要と思われる機能と役割についての検討も行った。</p>
主 な 意 見 等	<p>【整備方針、自由通路等の機能などに関する意見・質疑】</p> <p>○駅舎を高架式（半橋上駅舎）とするメリットは。</p> <p>→自由通路と駅舎機能を2階部分に集約化することにより、東西どちらからの利用者もほぼ平等にスムーズに利用が可能となり、自由通路と駅舎を同時に整備することから、エレベーター等のバリアフリー化も容易となる。また、駅舎が2階部分となるため、1階部分のスペースの有効利用が可能となる。</p> <p>○自由通路や駅舎の維持管理の主体は。</p> <p>→自由通路は市で行い、駅舎は規則に基づき、JRと市がそれぞれ行うこととなる。</p> <p>○西口広場には、雨よけのためのシェルター（屋根）設置が必要である。</p> <p>○駅や駅周辺利用者の利便性向上のための駐車場及び駐輪場整備が必要である。</p> <p>○整備の目標期間を示すことは大変良いことであるが、市民満足度の向上のためにも迅速に整備することが必要である。</p> <p>【駅舎に付帯する機能に関する意見】</p> <p>○FM局など情報の発信源となる機能があればよい。</p> <p>○待合機能や憩いの場となる機能があればよい。</p> <p>【オブザーバー（JR）の意見】</p> <p>○国土交通省の「自由通路の整備及び管理に関する要綱」に基づいた整備をすることとなるため、それを踏まえた市との協議を進めていくこととなる。鉄道会社であるため、利用者の安全を最優先に考慮する必要があることから、線路上空に設ける施設については、用途や構造も含めて制限をさせていただく。基本的には、市で示す自由通路や駅舎に関する計画がルールに即したものであれば実現は可能である。</p>

第3回：平成25年12月19日（木）

議 事	<p>(1) 本宮駅東西自由通路（駅舎含む）及び西口広場の機能・役割について（Ⅱ）</p> <p>①本宮駅東西自由通路整備（駅舎改修及び付帯施設）について</p> <p>②西口広場整備について</p> <p>(2) 本宮駅周辺東西アクセス整備計画書（素案）について</p>
主 な 内 容	<p>第2回目に引き続き、他事例を参考として、自由通路及び駅舎、西口広場における形態や必要と思われる機能と役割についての協議・検討を行った。</p> <p>また、委員会として、「本宮駅周辺東西アクセス整備計画書」の原案をまとめ市に提出するため、計画書（素案）についての協議も行った。</p>
主 な 意 見 等	<p>【自由通路、駅舎、広場等の機能などに関する意見・質疑】</p> <p>○階段にスロープの設置は検討しているのか。</p> <p>⇒自由通路は道路として管理する予定。自転車等は通行の際は乗車しないことなどある程度の制限を加えた上で、エレベーターを利用し昇降している事例もある。スロープの傾斜により距離の長い階段となることもふまえ、今後具体的に検討していく。</p> <p>○どの程度の規模の駅が適当なのか。</p> <p>⇒何もない駅では人が集まらない。過大でなければある程度の機能は必要と考える。FM局など常時人がいるような施設は有効である。（委員長）</p> <p>○駅に附帯する機能としては、いろいろなものを詰め込むのではなく、周辺の土地利用や商店街との役割分担から検討していくことが大切。</p> <p>○駐車場、駐輪場は不足しているので、現在の利用状況を参考に整備し、さらに必要になれば追加できるようにしておくのが良い。</p> <p>○西口広場については単に広場だけではなく、周辺の土地利用や4号線とのアクセス等を含めて総合的に考えていく必要がある。</p> <p>○まちの形成からみても西口利用者は増加すると思うので、それに対応できるような整備の仕方を検討したほうが良い。</p> <p>【整備計画書（素案）についての意見】</p> <p>○「早急に整備する」といった表現を入れてほしい。</p>

第4回：平成26年2月5日（水）

議 事	(1) 本宮駅周辺東西アクセス整備計画策定に関する報告書（案）について
主 な 内 容	<p>第3回委員会での意見をもとに修正を行った、「本宮駅周辺東西アクセス整備計画策定に関する報告書（案）」についての協議及び確認を行った。</p> <p>また、委員会としてまとめた、「本宮駅周辺東西アクセス整備計画の策定に関する報告書」を市に提出した。</p>
主 な 意 見 等	<p>○「本宮駅周辺東西アクセス整備事業の必要性」に、「旧本宮町からの取組み」とあるが、本宮市となったうえでの表現としては馴染まない。「東西アクセスに向けた長年の取組み」とした方が、必要性が伝わりやすい。</p> <p>○報告書に盛り込まれた内容は地域の念願であり、大変充実したものとなっている。この計画を実現するため、行政と市民との協働による取組みがより大切なものとなってくる。</p> <p>【市長との意見交換 主な内容】</p> <p>○東口広場整備により利便性の向上が図られたことが実感できており、西口広場の実現によりさらなる効果が期待できる。</p> <p>○市民サービス向上を図るため、駅舎内に自動証明発行機等の行政機能を設けてはどうか。</p> <p>○西口開発だけではなく、東西地域の発展を目指すものであってほしい。</p> <p>○報告書に示した「市道太郎丸・花町線（青田村道踏切）改良」については、東側の発展を支える大きな基軸となるため、早期実現が望まれる。</p> <p>○大玉村や近隣市町村との調整も実施してほしい。</p>



(2) 本宮駅周辺東西アクセス整備計画検討委員会委員

	委嘱規定	氏名	役職等
委員長	要綱第3条第2項第1号 (学識経験者)	いまにし かずお 今西 一男	福島大学行政政策学類准教授
副委員長	要綱第3条第2項第2号 (各種団体関係者)	おぬま さだひこ 小沼 貞彦	本宮市商工会長
委員	〃	いとう ゆきお 伊藤 幸夫	(株)Mot.com もとみや 代表取締役
委員	〃	つもり けんご 津守 研吾	(社)もとみや青年会議所 理事長
委員	〃	えんどう ときお 遠藤 登喜男	本宮市商店街連合会長
委員	〃	ともえ えみこ 巴 恵美子	本宮市交通安全母の会連合会長
委員	〃	えんどう ゆみこ 遠藤 ユミ子	本宮市母親クラブ連絡協議会長
委員	要綱第3条第2項第3号 (地域住民)	ながお だいすけ 長尾 大輔	
委員	〃	かたやなぎ へいはち 片柳 平八	
委員	〃	えんどう さだみ 遠藤 禎実	
委員	〃	くわばら かずみ 桑原 一美	
委員	〃	わたなべ こういち 渡辺 弘一	
委員	〃	すずき そうえい 鈴木 宗栄	
委員	要綱第3条第2項第4号 (公募委員)	ふゆむろ のぼる 冬室 昇	
委員	〃	おおうち ひでお 大内 秀夫	
委員	〃	かなや はるひさ 兼谷 晴久	
オブザーバー		たねいち まさる 種市 優	国土交通省 福島河川国道事務所 調査第二課 課長
		あべ まさあき 阿部 昌昭	福島県まちづくり推進課 課長
		たかはし ひではる 高橋 英晴	福島県北建設事務所 企画調査課 主任主査
		あいざわ よしひろ 相澤 義博	東日本旅客鉄道(株)仙台支社 企画部長

(3) 本宮駅周辺東西アクセス整備計画検討委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 この告示は、本宮駅周辺の利便性の向上とにぎわい創出の実現に向けた本宮駅周辺東西アクセス整備計画（以下「計画」という。）を策定するため、本宮駅周辺東西アクセス整備計画検討委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について協議、検討を行い、計画の案を策定する。

- (1) 本宮駅周辺にぎわいづくり提言書を踏まえた計画の基本方針等
- (2) その他前号に関連する必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、委員16人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 各種団体関係者
- (3) 地域住民
- (4) 公募委員

3 前項第4号に掲げる委員の公募方法は、市長が別に定める。

4 検討事項に関し必要な意見を聴くためオブザーバーを置くことができる。

5 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

6 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

7 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から計画の案を策定するまでの期間とする。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 委員会が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、建設部まちづくり推進課において処理する。

(その他)

第7条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

1 この告示は、平成25年5月9日から施行する。

2 この告示の施行の日以降、最初に招集される委員会は、第5条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

